

2025 年 12 月 3 日

世界観光指標（World Tourism Barometer） 2025 年 11 月号について

世界観光機関(UN Tourism)が 2025 年 11 月 27 日付で公表した標記報告書の概要を以下の通り御紹介します。

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。<https://www.e-unwto.org/>

2025 年 1 月～9 月の国際観光客到着数、5%増加

最新の世界観光指標（World Tourism Barometer）によると、今年 1 月～9 月間の国際観光客到着数は 11 億人を超え、2024 年の同時期に比べて約 5,000 万人の増加となった。

これらの結果は、観光サービスにおける高いインフレや、地政学的・貿易関連の緊張により旅行者の信頼感は一様でないものの、年間を通じて堅調な旅行需要が続いたことを示している。第 3 四半期は、力強い北半球の夏季シーズンに支えられ、2024 年比で 4%の増加となった。

UN Tourism のズラブ・ポロリカシュビリ事務局長は「国際観光は、観光サービスの高いインフレや地政学的緊張にもかかわらず、到着数、そして何より観光収入の面で、2025 年は持続的に成長を続けています。特にアフリカとヨーロッパが顕著な成果を示しています。」と述べた。

アフリカは地域の中で引き続き最も高い実績を示した

最新の世界観光指標は、2025 年 1 月～9 月間における国際観光を地域別・準地域(sub-region)別に分析している。主なポイントは以下のとおり。

- ・ **アフリカの利用可能な限られたデータによれば、9 月までの到着数は 10%増加した。**
北アフリカ（+11%）とサハラ以南アフリカ（+10%）のいずれも、二桁の伸びを記録した。

- ・ **世界最大のデスティネーションであるヨーロッパの到着数は、2025 年 1～9 月間に 6 億 2,500 万人となり、2024 年同期比で 4%増加した。**力強い夏季シーズンを反映し、ヨーロッパのすべての準地域が第 3 四半期に堅調な結果を示した。西ヨーロッパ（+5%）と南・地中海ヨーロッパ（+3%）は好調で、北ヨーロッパ（-1%）はやや控えめな結果となった。中・東ヨーロッパは引き続き力強く回復（+8%）したものの、2019 年比で 11%下回っている。
- ・ **アメリカは同期間 2%の伸びを記録した。**第 1、第 2 四半期はそれぞれ 3%増加したものの、第 3 四半期はわずかに減少（-1%）した。準地域別の結果は様々で南アメリカ（+9%）は、第 3 四半期に横ばいであったにもかかわらず、最も好調な実績を示した。北アメリカ（-1%）は、米国とカナダでの小幅な減少が影響し、やや低調であった。中央アメリカの到着者数は 9 月までに 3%増加した一方、カリブ海地域（+1%）は比較的緩やかな伸びとなった。
- ・ **中東への到着者数は、2025 年 1 月～9 月の間、2024 年同期比で 2%増加した。**これは 2019 年比で 33%多く、パンデミック前の水準において、地域別で最も高い成長を示している。
- ・ **アジア・太平洋地域への到着者数は、2025 年 1 月～9 月で 8%増加し、2019 年の水準の 90%に達した（同期比-10%）。**同地域での回復が進む中、北東アジアの到着数は 2024 年比で 17%増と際立った伸びを示したものの、2019 年の水準には依然として 12%届いていない。
- ・ 2025 年 1 月～9 月間における到着者数の伸び率が特に高かったのは、ブラジル（2024 年比+45%）、ベトナムとエジプト（共に+21%）、エチオピアと日本（共に+18%）であった。南アフリカは 17%増、スリランカとモンゴルは共に 16%増、モロッコは 14%の成長を報告した。これらのすべてのデスティネーションは、すでに 2019 年の水準を上回っている。

IATA によると、国際旅客交通量の有償旅客キロ（RPK）は、2025 年 1 月～9 月間で 2024 年同期比 7%増加した。また、提供座席キロ（ASK）はこの 9 か月間で 6%増加した。世界の宿泊施設の稼働率は 2025 年 9 月に 68%に達し、2024 年 9 月と同水準となった（STR データに基づく）。

ほとんどのデスティネーションで観光客の支出が好調に推移

・2025年9月までの国際観光収入の月次データによると、いくつかのデスティネーションにおいて観光客の支出は堅調であった。日本（+21%）、ニカラグア（+19%）、エジプト（+18%）、モンゴル及びモロッコ（いずれも+15%）、ラトビア（+13%）、ブラジル（+12%）、フランス（+9%）は、2025年1月～9月間における収入の伸びが特に大きかった。

・力強い需要は、一部の主要市場からのアウトバウンドによる支出にも見られる。米国（8月まで+7%）、フランス（+5%）、ドイツおよびイタリア（共に+4%）、さらにスペイン（8月まで+15%）や韓国（+7%）でも増加が確認された。

困難がある中でも、2025年の予測成長に向けて順調

UN Tourism が今年1月に発表した予測によると、2025年の国際観光客到着数は3～5%の増加が見込まれている。9月までの結果はこの予測と概ね一致しているものの、高い旅行費用や厳しい地政学的環境などの要因は、依然として重要な下振れリスクとなっている。

関連リンク

[UN Tourism 世界観光指標](#)



[Tourism Statistics Database](#)





○**UN Tourism World Tourism Barometer (世界観光指標) とは**

世界観光指標（バロメーター）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UN Tourism 本部から、年 4 回を目処に公表されます。UN Tourism アジア太平洋地域事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**世界観光機関（UN Tourism）について**

UN Tourism は、1975 年 1 月に設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UN Tourism アジア太平洋地域事務所は、UN Tourism の地域事務所として 1995 年に設立されました。アジア・太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●**お問合せ先（メディア専用窓口）**

※メディアの方は UN Tourism 本部へ直接、英語でお問合せください。

E-mail: comm@unwto.org Tel: (+34) 91 567 8100

○**お問合せ先（メディア以外）**

UN Tourism アジア太平洋地域事務所（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田

E-mail: info@unwto-ap.org Tel : 0742-30-3880